

文教・子ども委員会 主な報告内容

他の3つの常任委員会よりも報告事項が多くなりがちな文教子ども委員会ですが、ここでは11月までの報告事項の中で気になったものをピックアップ！

病後児保育施設 @ 油面

今年4月開設の学芸大学エンジェル保育室に引続き、来年4/1(火)からは油面交差点付近に新たな病後児保育施設「(仮称)目黒通りこどもクリニックみんなのおうち病後児保育室」が開園します。

病後児保育所は、保育園等に通っている乳幼児が「病気の回復期」にあって、集団保育が困難な時期に、保護者の仕事の都合がつかず家庭で保育する人がいない場合、専用施設で一時的に預かる場所。これで空白だった東部地域も含め、区内5つの地域全てに揃いました。

なお目黒区には「訪問型病児・病後児保育利用料助成制度」として、ベビーシッター利用での費用助成制度もあります。お子さんの急な発熱等で困った際に、ぜひご利用ください。

子どもたちのiPadの今後

小中学生1人1台貸与されているiPadですが、ちょうどリース期間の5年間が終わります。次の5年間もリース契約で貸与していくこと、現在導入されているLTEの回線はWi-Fiに変更(自宅にWi-Fiがない家庭には貸与)することなどが報告されました。

導入時はコロナ禍で急に導入を早めるよう国からの通知がありました。区議会では私から、回線の整備やソフトウェアの導入などを目黒区独自の予算でしっかり進めるように質問した覚えがあります。

目黒区立小中学校での端末の利用率は都や国の平均と比べても高いとのこと。きちんと使いやすい環境を整備でき、質問をした甲斐があったと感じました。

長くなる、来年度の夏休み

区立幼稚園、こども園、小中学校の夏休みはH20年度から今年度までは8/24が最終日でしたが、来年度からは8/31までに延びることになります。

報告資料に書かれた理由としては、

- ①夏季休業期間をH19年度までと同様にしても標準授業時数の確保が確認できた
- ②暑さに伴う身体的負担を低減するという2点。11/26(水)の教育委員会で「目黒区立学校の管理運営に関する規則」改正の議案の可決を以て決定となります。

学校から保護者へのお知らせは、その期間中の子どもたちの居場所の確保などを終えて改めてお知らせしていくとのこと。

来年の夏休みの予定を立てる際はご注意ください！



写真AC(フリー素材使用)

あとかき

前は夏に発行し、ずいぶん間があいてしまいました。9月の第3回定例会では一般質問での出番と決算の質問が重なり、直後の総選挙も含めて忙しい秋となりました。

年明けの第1回定例会でも同じように一般質問と予算特別委員会の機会があるので、またバタバタと過ごすことになりそうです。

今回のVol.29を出すまでの間には委員会視察や第4回定例会もあったので、そのご報告も改めてさせていただきます。

ご自宅に届いた際や街頭で配っているのを見かけた際には、ぜひお読みください。



視察先でも多くの質問を重ねる

目黒区議会議員 橋本しょうへい プロフィール

1989(平成元)年6月6日神奈川県生まれ、埼玉県深谷市出身 埼玉県立熊谷高等学校、明治大学卒 (株)ダイエー、手塚よしお秘書を経て2019年初当選、2024年区議補選から2期目。双子の兄弟 <所属>文教・子ども委員会、施設更新・DX等調査特別委員会、住宅政策審議会 など <趣味>空手(和道、松濤館)、スキー、食べ歩き <特技>手話 <好きな言葉>温厚篤実、一意専心 <好きなもの>りんご、みかん、麻婆豆腐、クラフトビール <尊敬する人>渋沢栄一、後藤新平



キャベツひと玉の値段に敏感でありたい

目黒区議会議員 橋本しょうへい 区政レポート



ホームページ (公式)



Twitter

Vol. 29 2024.12.10発行

〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15 5階 目黒区議会立憲民主光教室

Tel 080-5090-2560 Mail info@shohel.tokyo

令和6年 第3回定例会

意見書の採択では賛否拮抗の場面も。



橋本しょうへい 議員

9/4(水)~9/30(月)まで、目黒区議会の定例会が開催されました。

主な議題としては、昨年度の決算の認定(私からの質問内容は見開きの内側に記載)や、区有施設の利用料見直し、その他にいくつかの意見書や陳情など。

また、今回は私たちの会派「目黒区議会立憲民主党」から「訪問介護の基本報酬引き下げの早急な見直し等を求める意見書」を提案しました。反対は「自由民主党目黒区議団・区民の会」、「公明党目黒区議団」、「日本維新の会目黒区議団」の15票に対し、賛成は私たちの会派「目黒区議会立憲民主党」、「めぐろの未来をつくる会」および「日本共産党目黒区議団」、ならびに無会派の方々を合わせて19票。

他会派から出された「学校施設の更新・改修等で国庫負担金を算定する際に用いられる建築単価の実態に見合った引き上げを求める意見書」とともに、賛否が割れながらも可決となりました。

「数は力」という言葉はあまり好きではありませんが、1議席の重みをひしひしと



私は左から2番目の島で起立、右側の賛否の様子を確認中。議会中継録画より。

一般質問にも登壇

目黒区の広報・広聴について

第3回定例会では一般質問で登壇する機会もあり、目黒区の広報や広聴について尋ねました。

区の職員がどんなに良い施策に取り組んでも、恩恵に与る対象者にその情報が届かなければ申し込むには至りません。また、様々な取り組みに関わる人の声を集める仕組みはSNSの活用などによってももっと作れるはず。行政と区民との双方向のコミュニケーションについては少しずつ取り組みが進められていますが、他の街から移り住んできた区民や若い区民にも、もっと行政が目を見て欲しいということも併せてお伝えしました。

感じるひとときでした。

悩みながら判断することは多くありますが、引続きひとつひとつ考えながら結論を示していきたいです。



橋本しょうへい 議員

一般質問での再質問の様子(議会中継より)

決算特別委員会での質問の要旨は裏面に記載したほか、その様子は議会中継(録画)からもご覧頂けます。また定例会で可決された意見書は見開きの内側や、区のホームページにも記載しております。こちらもぜひご覧ください。

目黒区議会の今後の主な日程		
12月11日(水)	企画総務委員会	10時~
	生活福祉委員会	10時~
	都市環境委員会	10時~
	文教・子ども委員会	10時~
12月13日(金)	特別委員会	10時~
	本会議	13時~
12月16日(月)	特別委員会	10時~
	特別委員会	10時~
1月8日(水)	企画総務委員会	10時~
	生活福祉委員会	10時~
	都市環境委員会	10時~
1月10日(金)	文教・子ども委員会	10時~
	特別委員会	10時~
1月24日(金)	特別委員会	10時~



意見書



質問の様子

決算特別委員会 質問内容はこちら

決算特別委員会では昨年度の決算に対し、9点にわたり質問をしていきました。

全文は非常に長いのでここでは質問の要旨のみを掲載します。詳細や答弁の内容が気になる方は議事録や議会中継から、令和6年度の「決算特別委員会」をご覧ください。



一般質問での肩書は「議員」ですが、予算や決算での質疑では「委員」になります。

Q1.人財育成方針

令和4年9月に「人財育成方針」が決定され、昨年度は、その方針に基づく取り組みが行われた。改定の必要性を感じた点はあるか。また、人事評価に連動させた方が浸透すると思うが、今後の方向性は。

Q2.定年延長

令和5年度は公務員の定年延長の最初の年だった。職員の定数管理についての考え方はどのように整理したか。施行前にも質問したが、施行後なので改めて確認したい。



決算期の資料。どの分野の仕事も、役所の人財なくしては成り立たない。

Q3.採用(新卒や中途)

若年層では終身雇用を前提としていない方も多く、区でも民間へ転職する職員がいらっしゃる。人員補充や、区政に新しい風をもたらせるという視点で、新卒や中途での採用数はどのように考えるか。

Q4.総合庁舎ロケーション事業

総合庁舎を利用したドラマや映画等の撮影件数はコロナ前よりも増えている。区の収入増というよりも目黒区のブランドイメージの向上のために、ぜひ積極的に引き受けて頂けないか。



区外在住者が誘導なしにたどり着けるでしょうか…

Q5.帰宅困難者対策

大規模災害時に帰宅困難者が避難する「一時滞在施設」の中には駅から離れた民間施設もある。発災時に区の職員が駆けつけることも困難な中で、どのように備えていくか。

Q6.生活福祉費

貸付金の返済や税の支払いが滞っている方の情報、行政支援に繋がらないか。目黒区では「福祉の総合相談窓口」や「重層的支援体制整備事業」など、課を越えて連携している例がある。

Q7.手話の話者への情報保障

障害者差別解消法により、合理的配慮の提供は事業者も努力義務から本年4月に義務に変わり、手話通訳の需要が増加する可能性がある。目黒区での手話言語条例の制定も準備を進めている中で、今後の手話通訳者の育成や派遣について、いかがお考えか。

Q8.木造密集地域

令和3年まで実績ゼロが続いていた「木造住宅密集地域整備事業」で、予算にかなり近い実績を上げた点を評価している。空地もすぐ売れるなど、土地の取得が厳しい目黒区で公園用地取得をどのように進めてきたのか。また、用地取得は福祉の分野も含めて課題となっている部署も多い印象。ノウハウを横展開していった欲しい。



木密地域の指定は外れたものの、祐天寺駅付近は災害時の危険度が高いまま。

Q9.不燃化促進(今後の不用額を減らす観点から)

「都市防災不燃化促進事業」では当初予算に対して支出額が少ないが、決算の数字が出る前に今年度の予算額を減らして対応していた。目黒区財政において不用額の多さは他の複数の会派からも指摘されていたが、どのような背景と考えの下で動いたのか。来年度予算の議論をする上で参考にするためにも確認したい。

意見書の内容について

令和6年第3回定例会では国への意見書の提出について、目黒区議会立憲民主党から議員提案を行いました。目黒区議会でも可決された文面は以下の通りです(宛先や差出人は省略)。

訪問介護の基本報酬引き下げの早急な見直し等を求める意見書

介護報酬の改定に当たっては、すべての介護事業者のサービスが安定的に提供されるとともに、介護従事者の賃金が改善することによって生活が安定し離職が防止されることに配慮がなされなければなりません。

しかし、政府は令和6年度の介護報酬改定において訪問介護の基本報酬を引き下げました。これにより、小規模な訪問介護事業所の倒産や人手不足に拍車がかかり、訪問介護サービスが受けられなくなる要介護者や介護離職が増加するおそれがあります。

東京商工リサーチの調査によると、令和5年の訪問介護事業者の倒産は67件と過去最多を更新し、倒産や廃業の懸念が増えています。また、厚生労働省の調査では訪問介護事業所の36.7パーセントが赤字経営であることも分かっています。そもそも介護事業所は、人手不足と物価高騰等により、厳しい経営を強いられています。

厚生労働省は、訪問介護の処遇改善加算について高い加算率に設定したと説明していますが、運営資金につながる基本報酬を下げてしまえば、小規模な事業者の経営の厳しさに拍車がかかることは明白です。また、厚生労働省は処遇改善加算を取りやすくしたと説明していますが、上位の加算の要件は厳しいため、小規模事業者が取得することは困難です。

訪問介護の基本報酬の引き下げによって、将来的には地域包括ケアシステムが崩壊し、介護保険制度による「介護の社会化」に逆行する事態が起きかねません。よって、政府に対し、以下の事項を速やかに実施するよう強く求めます。

記

1. 訪問介護の基本報酬引き下げによる影響について早急に確認し、その結果に基づいて訪問介護事業者に支援金を支給すること。その上で、訪問介護の基本報酬引き下げの見直しを含めた介護報酬の期中改定を行うこと。

2. 処遇改善加算が取得できない事業所に対する加算基準の緩和を実施すること。

3. 介護報酬は、単に介護事業経営実態調査に基づくサービス全体の収支差率で判断せず、事業規模や地域事情によって収支差率に大きな開きがあることを考慮して報酬額を判断するとともに、実態に即した基準に最適化していくこと。

4. 訪問介護事業所の経営難の原因の1つになっている人手不足を解消するため、介護従事者のさらなる処遇改善を行うこと。
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和6年9月30日